

『濱地健三郎の幽(かくれ)たる事件簿』

有栖川 有栖 著 KADOKAWA (分類:Fア)

探偵・濱地健三郎には鋭い推理力と幽霊を視る能力がある。ミステリー研究会の部室で頻発する奇妙な現象、良き父親を襲う不可思議な発作…。これは怪異かトリックか? 異才の名探偵・濱地健三郎の事件簿第2弾。7篇を収録。



『法の雨』 下村 敦史 著 徳間書店

(分類:Fシ)

結審直後に法廷で倒れた判事・嘉瀬清一が宣告したのは、逆転無罪。担当検事の大神護は打ちひしがれる。その判決が、裁判官、検察官、弁護士、被害者、加害者それぞれの正義を狂わせ…。『読楽』連載を加筆修正し単行本化。



『好きなものを「推す」だけ。』 Jini 著 KADOKAWA (分類:007ジ)

「推し」とは、何かが好きだと発信することを指すネットスラング。本当に好きなものを推して2500万PVを獲得し、仕事の依頼も絶えなくなったトップブロガーの全スキルを公開。営業、プレゼン、SNSに効く、推す文章術。



『三浦按針』 森 良和 著 東京堂出版 (分類:289.3ア)

徳川家康率いる日本との外交に勝利したのは、ポルトガル、スペイン、オランダ、イギリスのいずれか? 歿後400年、今なお研究が進んでいない三浦按針(ウィリアム・アダムス)の魅力を、一次史料や現地調査をもとに描く。



『データで読み解く日本の真実』 樫出版社 (分類:302デ)

フェイクニュースに惑わされず、正しい情報を取捨選択するために-。識者が最新のデータを基に、日本の正しい現状を解説。政治・経済・情報・社会・防衛・教育・医療・ジェンダー・宗教を取り上げる。



『いじめのことばから子どもの心を守るレッスン』

堀田 秀吾 著 河出書房新社 (分類:371 ホ)

いじめのことばかどうかは、ことばそのものの意味で決まるわけではなく、発せられた文脈や、聞き手がどう解釈するかということで決まる。被害者にも加害者にもさせないための、ことばの使い方・伝え方・考え方を解説する。



『シニアの高血压』 土橋 卓也 監修 NHK出版 (分類:493 シ)

高血压対策の基本は、何歳になっても変わりません。しかし、私たちの体は年齢とともに少しずつ変化していくので、それに合わせた「見直し」が必要です。2019年版ガイドラインの新しい治療目標に対応。



『アレンジ&クリエイティブアイスコーヒー』

旭屋出版 CAFERES 編集部 編 旭屋出版 (分類:596 ア)

日本人に親しまれているアイスコーヒー。ソーダアレンジ、ミルクアレンジ、シエケラート、フローズンアレンジ、ノンアルコールのモクテルなどを紹介する。『CAFERES』掲載を加筆・訂正。データ:2020年4月現在。



『進化する里山資本主義』

藻谷 浩介 監修 ジャパンタイムズ出版 (分類:601 シ)

マネー資本主義のアンチテーゼとして、里山資本主義が提唱されてから7年。実践者たちへの取材をもとに、各地の里山資本主義の成功要因を明らかにする。人と人とのつながりによって地域活性化を目指す人たちのガイド。



『農家が教える痛快キノコづくり』

農文協 編 農山漁村文化協会 (分類:657 ノ)

菌床置くだけ栽培、プランター栽培など多彩なラクラク栽培のほか、古くなった原木をバシバシ叩くシイタケ増収法や、名人伝授のマツタケ山づくり、産地のとっておきレシピなど、農家ならではのキノコ栽培法と楽しみ方を大公開。



『右向け〜っ、左!!』 水森 亜土 著 河出書房新社 (分類:726.50 ミ)

歌を歌いながら両手でお絵かきをする水森亜土。日本橋のたもとで生まれ育った亜土だからこそ知る、古き良き東京の魅力や、チャレンジ精神で駆け抜けた青春時代、歌手・画家・主婦として生きた日々を綴る。



『エドワード・ゴリーの世界』

濱中 利信 編 河出書房新 (分類:726.60 ゴ)

独特の韻を踏んだ文章と、独自のモノクローム線画でユニークな作品を発表したエドワード・ゴリー。唯一無二の魅力と作品を紹介する日本オリジナル編集ガイド。世界的コレクターによる秘蔵のコレクションを増補改訂した新版。



『希林のコトダマ』 椎根 和 著 芸術新聞社 (分類:778 キ)

ものを持たない生活をしてきた樹木希林さんは、所有する本を100冊と決めました。よい本があれば、本棚から一冊を抜いて知人にあげる…その繰り返して磨かれた、最後の100冊を初公開し、98冊を紹介します。



『アニメの詩人ノルシュテイン』

児島 宏子 著 東洋書店新社 (分類:778 ノ)

「霧の中のハリネズミ」「話の話」「アオサギとツル」など、日本でも愛され続けるロシアのアニメーションの巨匠ノルシュテイン。その人生と作品を、30年近くも公私にわたりノルシュテインと対話を重ねてきた通訳者が描く。



『おうち遊びのワンダーランド』

木村 研 著 いかだ社 (分類:798 キ)

家庭で、教室や体育館で、すぐ楽しめる39の遊びを収録。そつとそつとの輪くぐり、つな引きにらめっこなどの「準備のいらない遊び」と、くるくるもよう車、吹き矢ダーツなどの「親子で手づくりおもちゃ」を紹介します。



新しく入った 児童図書・YA  
(5/24) 予約受付いたします！

『ひとりだちするきたきつねのこども』

手島 圭三郎／絵・文 絵本塾出版 (分類:Eテ)

秋になり、きたきつねの子どもはひとり立ちの時を迎えました。親子の別れの日、父親は「できるだけ遠くへ行くんだ」と強い言葉で言いました…。厳しい自然の中で力強く生きる動物の姿を描く、ダイナミックな版画絵本。

(小学校低学年～)



『あいうえおさん』

森 絵都／文 河出書房新社 (分類:807モ)

あくまが アジトで あわおどり。ねずみの ねがいは ねこのくび。ひきょうな ひぐまを ひっぱたく。ようかい よろこぶ よるのもり。リズムにうきうき、イラストにワクワク。189のことばあそび絵本。(小学校低学年～)

